

令和2年11月5日

教育委員会

公共事業調整会議の結果を踏まえた市の対応方針（案）

（小倉北特別支援学校等整備事業）

1. 概要

「小倉北特別支援学校」及び「北九州中央高等学園」を東芝北九州工場跡地に建替え整備する。

2. 現状・課題

・教室不足等の狭あい化（小倉北）

特別な教育的支援が必要な児童生徒の増加により教室が不足している。また、敷地が狭いため適切な広さの運動場、安全面に配慮したスクールバスターミナルが未整備である。

・校舎等の老朽化（小倉北・中央）

両校とも「北九州市学校施設長寿命化計画」のA～D評価のうち「C」評価（広範囲に劣化）と判定され、老朽化が進んでいる。

・就労の多様化への対応（小倉北・中央）

現行の作業学習（木工作業・パン製造・手織り）が企業のニーズに対応しきれていない状況にあるため、今後は企業の求める人材を育成するとともに、将来の職業需要の変化に柔軟に対応できる作業教室の整備が必要である。

3. 事業内容

（1）事業規模

	建替え前 (令和2年度)		建替え後 (令和7年度)	増減
所在	小倉北特別支援学校 (小倉北区下到津四丁目)	北九州中央高等学園 (戸畑区沢見一丁目)	2校併置 (小倉北区下到津一丁目)	—
学部	小学部・中学部・高等部	高等部(定員制)	同左	—
児童生徒状況	主に中・重度の知的障害	軽度の知的障害	同左	—
建物構造	RC3階建	RC4階建	RC3階建(予定)	—
敷地面積	7,931㎡	15,762㎡※1	約21,500㎡	▲約2,200㎡
延床面積	6,112㎡	4,627㎡	13,260㎡※2	約2,500㎡
竣工	昭和53年 (築42年)	昭和48年 (築47年)	令和7年度中 竣工予定	—

※1 北九州中央高等学園は、戸畑高等専修学校と共用して使用
(敷地面積は2校分、延床面積は北九州中央高等学園のみ)

※2 特別教室(音楽室・美術室等)、作業教室、就労支援室等は共用

（2）総事業費

約59.5億円

4. 東芝北九州工場跡地への移転・併置の効果

<p>■ハード面</p>
<p>①教室不足が解消される。</p> <p>②児童生徒の運動量に応じた運動場を整備できる。</p> <p>③安全面に配慮したスクールバスターミナルを整備できる。(小倉北特別支援学校)</p> <p>④作業学習に必要な畑や屋内外の作業スペースを十分に確保できる。</p> <p>⑤校舎等の老朽化が解消される。</p> <p>⑥音楽室、美術室等の特別教室や作業教室を共有することで、<u>施設規模のコンパクト化を図るとともに、建設費用を抑えることができる。</u></p>
<p>■ソフト面</p>
<p>①福祉的就労がメインである小倉北特別支援学校の一般就業率を向上させ、そこで蓄積したノウハウを活かした指導を、他の特別支援学校で行うことで、<u>全市的な一般就業率向上が期待できる。</u></p> <p>②2校の児童生徒の職業自立や、<u>社会性・コミュニケーション能力の育成を、図ることができる。</u></p> <p>③交通の利便性の向上により、企業との交流が深まることで、<u>就労先の開拓につながる。</u></p> <p>④東芝北九州工場跡地の利用コンセプトに沿った整備となり、<u>障害者とともに生きるまちをつくる</u>ことができる。</p>

5. スケジュール

年 度	小倉北特別支援学校等整備
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共事業評価事前評価1 (幹事会 9/3、調整会議 10/2、外部検討会議 11/6) 《一定規模以上の公共事業の構想・計画段階で基本計画を策定する前までに行う評価》 ・ パブリックコメント (12/15~1/14) ・ 基本計画
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共事業評価事前評価2 《一定規模以上の公共事業で実施段階の経費を新たに予算化する前までに行う評価》 ・ 東芝北九州工場跡地用地取得 ・ 基本設計
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実施設計
令和5~7年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校舎等建築工事 ・ グラウンド整備工事
令和7年度中	<ul style="list-style-type: none"> ・ 供用開始

小倉北特別支援学校 学校概要

令和2年5月1日現在

施設の概要

- ・ 建築年：昭和53（1978）年建築 築42年経過
- ・ 所在地：小倉北区下到津四丁目3-1
- ・ 校地面積：7,931㎡
- ・ 延床面積：6,112㎡
- ・ 主な構造：鉄筋コンクリート造
- ・ 普通教室：27教室（特別教室からの転用を含む）
- ・ 教育部門：知的障害教育部門（小学部・中学部・高等部）

児童生徒数

	人数	学級数
小学部	70	15
中学部	31	8
高等部	44	10
計	145	33

職員構成

	人数
教員	78
職員	24
計	102

卒業後の進路

* 令和元年度卒業

	人数
一般企業	0
福祉事業所	11
その他	0
計	11

沿革

年度	内容	備考
昭和51年	小倉南養護学校戸畑分校として開校 （一枝小学校校舎借用）	校区は小倉区紫川以西、戸畑区、 八幡区、若松区二島以北 学級数10（小10）
昭和52年	中学部新設	学級数13（小12、中1）
昭和53年	小倉北養護学校独立開校（小、中学部）	現在の校舎
昭和55年	高等部新設	学級数18（小11、中6、高1）
平成19年	校名変更 小倉北特別支援学校となる	

北九州中央高等学園 学校概要

令和2年5月1日現在

施設の概要

- ・ 建築年：昭和48（1973）年建築 築47年経過
 - ・ 所在地：戸畑区沢見一丁目3-47
 - ・ 校地面積：15,762㎡*
 - ・ 延床面積：4,627㎡
 - ・ 主な構造：鉄筋コンクリート造
 - ・ 普通教室：15教室
 - ・ 教育部門：知的障害教育部門（高等部）
平成19年度開校 本市唯一の高等部単独の特別支援学校
軽度の知的障害のある生徒が3年間で就業を目指す目的で新設。
- *校地面積は戸畑高等専修学校と共有

生徒数

	人数	学級数
高等部	115	15

職員構成

	人数
教員	41
職員	8
計	49

卒業後の進路

*令和元年度卒業

	人数
一般企業	43
福祉事業所	3
その他	1
計	47

沿革

年度	内容	備考
平成19年	北九州市立特別支援学校北九州中央高等学園として開校	旧天籟中学校の校舎を有効活用 戸畑高等専修学校も同時に移転し供用を開始した。